

0:00 死にたくないよ寝てなんかそんな言葉を 0:03 言ったのかな違いますけどって思って 0:06 もうはっきり思いましたしねその9歳の壁 0:09 っていう言葉も私ちょっと正直知らなかつたのであの調べてみたんですよしたら 0:15 あーもうこれはもう 0:17 娘には当てはまらない言葉だなんてもう9 0:20 歳の壁もちゃんと超えたって私はもう思っ 0:23 てましたのでねよくその 0:26 聴覚 0:26 障害者 0:27 学力知力を取るっていうその 0:30 断定ですよこれはもうそれをイコールと 0:33 言うっていうこと自体も差別ですよ 0:36 偏見ですよって単なるという風に思っ 0:39 たらもう怒りがこみ上げてきていやそんな 0:43 こと言ってますけどあなたたちは絢香の 0:46 11年間のこの 0:48 努力を 0:49 頑張りを全く知らないですよってもう 0:52 本当にもう直接言いたい気持ちでいっぱい 0:56 でしたねもう本当にその言葉を言われから 1:00 はもう毎日その 1:02 悔しい感情を押し殺して生きていくのが 1:05 もう苦しくて苦しくて今現在もなんです 1:08 けどねよく相手もそういうことを堂々と 1:12 主張してきたなって思うんですよ 1:15 やっぱり保険会社っていうのはやっぱり 1:19 会社の利益を考えてやっぱり1円でも 1:23 少なくしようっていう思うのがまあ会社と 1:26 してはそういうことなんでしょけどだ 1:29 からといってね保険会社の会社員である前 1:33 にねやっぱり一人の人間として人として 1:37 やっぱり言っていることと悪いことって 1:41 いうのはわかりませんかあなたたち 1:44 そのお金のためなら何を言っても許され 1:47 るっていう歌詞いいなと思うんですよその 1:50 保険会社の社員である前に人としてどう 1:54 あるべきかその考えてほしいとそうです 1:56 すごく言いたいですね 2:01 この人権差別的な発言がどうしても私に 2:06 とっては悔しくてたまらなかったので当時 2:09 仕事しながら書く 2:11 報道者には電話で伝えてなんとか取り上げ 2:14 て欲しいと 2:16 訴えてきました僕 2:17 父親として 2:18 許せない言ったら10対0ですから娘の命 2:22 を奪われてなおも 2:24 聴覚障害があるからってひどいこと人権 2:27 差別的なことと言われてもうどうしても許せ 2:29 ないとにかく 2:30 娘の前で謝罪させたいというその気持ちで 2:33 いろいろやってきましたで朝日新聞の取材 2:36 を受けてその記事がきっかけで弁護団そこ 2:39 には耳の聞こえない弁護士の先生もおられ 2:42 ますまたそこから大阪 2:44 聴力 2:45 障害者協会大竹会長 2:47 筆頭に支援をさせてほしいという話もき 2:50 ましたで 2:51 署名活動すると結果1年半ぐらい続けて 2:56 署名活動をして 2:57 累計数11万5000 2:59 室照明が集まりました本当に私どもの 3:03 訴えが皆さんの耳に届き感謝でいっぱい 3:06 です 3:08 最後の署名を 3:10 渡す時に言わせてもらいましたひどい差別 3:12 を言われてきましたけども 3:14 聴覚障害者のコミュニケーション 3:17 環境っていうのはいいように変わってきて 3:19 いる携帯端末使って 3:21 UDトークっていう便利な道具としてある 3:24 んですね相手側が言うコミュニケーション 3:27 取られへんからっていうような言い分は 3:30 もう古い話なんですねなので僕は 3:33 裁判所に対してもう現状今の時代は変わっ 3:37 てきているから 3:38 過去の判例にとらわれず今の現状を 3:42 ちゃんと理解した上でちゃんと判決して 3:45 くださいねとも強く言いました 3:49 はいということですねとても大切な話を 3:52 そうですね聞かせてもらったと思います 3:54 大きくね僕3つあったと思うんですけど 3:56 まず1つ目ですねご主人様が話されたこれ 4:00 今何時転換ですかこういう風なはいあの 4:04 病気を持ってる方でも簡単に 4:07 免許の更新ができてしまう 4:09 この分についてはどうですかねお話の中で 4:12 あったりね 4:13 病院とやっぱり公安協会が連携してこれは 4:16 もう法律で決めて 4:18 免許これ持てませんいうことを公表せない 4:20 かねねぜひそのような運動していきたいな 4:23 と思います以前にもなんか鹿沼市の方で 4:25 同じような重機の 4:28 暴走事故があってそこでもなんか5名6名 4:31 なくなれた事故が同じようなことがね 4:35 繰り返されないように国民の責任だと思っ 4:37 ますよこういうことは2つ目が保険会社の 4:40 人権 4:42 侵害とも取れるような発言の部分ですよ 4:45 ここについてどう思われますか財産は 4:49 証券会社お金しか価値ないから人の心持っ 4:52 てないですなまずもう絶対思っ 4:54 やっぱり人としてどうあるべきかと思うし 4:57 やっぱり保険会社の社員さんももっと自己 5:00 の主張してからかと人として悪いこと悪い 5:04 ダメなことはダメならぬことはならぬので 5:07 あるからねそういうことをきっちりところ 5:09 に持って行動してほしいと思っ 5:12 ずっとまあお話をお聞きして感じてたの 5:14 はお金じゃないんですよでその 5:19 娘さんのね名誉だとかご夫妻が心の整理を 5:23 つけたいとかそういうとこなんですよ 5:29 お金のことしか言うてないからそこがね 5:33 そこが大きな問題ですよ三井住友海上に 5:36 言いたいのはやっぱり示談代行サービスと 5:39 してですね加害者の代理としてプロとして 5:42 入ってきてるわけですから 5:45 被害者の方の心情をですね 5:48 考慮したが発言だとか対応だと本当に大事 5:51 などところは気持ちのところだと思うんです 5:53 よ 6:03 それはですねこの三井住友海上にですね 6:06 発信していきたいなと思っ 6:09 それとあとやっぱり僕前から思ってるん 6:12 ですけどやっぱりねこの三井住友海上の 6:17 顧問弁護士がこの 6:18 被害者と相対することの 6:22 難しさこれあると思うんですよやっぱり 6:26 顧問弁護士はもう三井住友海上の方 6:29 ばかり見て仕事をするわけですから三井 6:32 住友海上の利益というと1円でも支払い 6:36 保険金を減らすことじゃないですか 6:37 おっしゃる通りですねただね加害者の方は 6:40 そうじゃないと思うんですよそれはそう 6:42 ですよいち早く 6:44 被害者の方はですね正當なね 6:47 賠償金を受け取って普段の生活にね戻れる 6:50 ようにそういうことを求めているはずなん 6:52 ですよですんでこのね今の制度この 6:57 保険会社の 6:59 顧問弁ですが示談介入するというふうな 7:02 ところまで問題点がちょっとあるんじゃないかなとこれもものすごいありますね 7:07 もちろんねその適正な 7:09 賠償金よりも多くの賠償金払うとはそんな 7:12 は思わないんですけど 7:14 減らすために入ってくる弁護士なのかそれ 7:17 がね加害者のために 7:19 適正な賠償金はいくらなのかということをして 7:22 調べるために入って

くる弁護士なのかそう 7:25 ですねこれ全然違うと 7:27 これがね私ちょっと2つ目ちょっとと思った 7:30 ことですかねだから同じ 7:32 鑑定というか料理のもとできっちり 7:34 話し合える弁護士同士やったらね何も問題 7:37 ないし加害者と被害者が当事者やねんから 7:39 保険会社なんか元々第三者や 7:43 契約に基づいて保険金払えよという話だね 7:46 加害者の方と 7:48 被害者の方と保険会社の方が向いてる 7:50 ところは違うくてですね 7:52 ここちょっとね保険会社の利益のために 7:55 介入してくるコーン弁護士のあり方これも 7:57 ちょっとねこの動画を通じて私ちょっと 8:00 発信していきいたいと思うんですね 8:08 出たと思いますでこれ最後ですね最後がご 8:12 主人様がおっしゃられてた時代が変わっ 8:14 てるんやと9歳の彼がいつも文献なんやと 8:18 ね今やあれですよ 8:21 携帯でねかざしたらもう対応でも韓国語で 8:25 もね 8:25 翻訳できるんですよで言葉でね話したら 8:29 日本語で翻訳されるような 8:32 携帯電話でねその外国の方と話ができて 8:36 外国語の 8:38 教育イランのちゃうかと言われてるような 8:41 時代なんですよ 8:45 27日これ判決がね下がるんですけども 8:49 そのようなですね 8:51 過去の 8:52 古いような 8:53 証拠が 8:54 重要な証拠として取り扱われてそのような 8:58 判決が出るのか今の時代に即したですね 9:02 判決が出るのか間もなくなんですけど 27 9:05 日の判決 9:06 DA としてもねウォッチしていきいたいと 9:08 思います私もそれについてはね 9:10 裁判官に言いたいねはい 9:12 裁判官は両親を持って判決を下して 9:15 ください 9:22 被害者の方がね一番望んでいることはお嬢 9:25 さんに対して 9:26 娘さんですねに対してきっちり 9:28 謝罪してほしいということですこれが一番 9:30 大事ですね保険会社としても加害者の代理 9:34 や言う以上 9:35 謝るの当たり前やからね人の心あるんやっ 9:37 たら 9:38 誤り 9:38 三井住友英語で言いますよやっぱりねそう 9:43 ですよ話をお聞きしてねもう娘さんと 9:46 お母さんがねこの娘さんがね 9:49 将来ハンディキャップを背負わないように 9:51 いろんなね幼い頃から 9:54 努力してきた時間があるそれをね無視 9:58 するようなねそれが仕事とはいえですよ 10:00 仕事なのはわかるんですけどそれに対して 10:04 ですねまあ名誉をね回復するようなね 10:06 先ほども言いましたけどお金じゃないと 10:09 思うんですよこの娘さんとの 10:12 過去をね歩んできた日々それに対して 10:16 政治つけない 10:17 ということが最も望んでいらっしやること 10:20 じゃないかなと保険会社の公弁護士である 10:23 前に保険会社の社員である前に1人のね 10:26 人間としておっしゃる通りそこはね 10:29 ちょっとね三井住友海上の 10:32 代表取締役にもなるとおっしゃる方だし 10:34 たっけちょっとしちゃいました 10:41 この声届いてますでしょうかちょっとね 10:43 これはですねあなたの責任でもあるわけ 10:45 ですからこの娘さんの名誉が回復される 10:48 ようにねご両親の持ちがですね整理される 10:52 ように何らかの形で 10:54 答えていただきたいなと思います保険会社 10:56 は誰のために何のためにあるかいう原点を 10:58 もっと考えなあはい 11:02 ということでお願いします 11:12 ありがとうございますありがとうございました 11:14 ました

From:
<https://wvic.link/wv/> - 被害者の知識集成 - Wiki for Victim - 100人で一歩ずつ行きたい

Permanent link:
https://wvic.link/wv/doku.php?id=%E4%BA%A4%E9%80%9A%E4%BA%8B%E6%95%85:%E5%89%8D%E7%B7%A8_log&rev=1677657170

Last update: 2023/03/01 07:52

